

## Introduction

Good morning, Brethren. Today, I'd like us to reflect upon a universal human experience – that of feeling **discouraged**. It's a sentiment that can cast a shadow over our lives, but we are not alone in this struggle. We can find guidance and inspiration in the life of Jesus Christ. His journey on Earth was marked by challenges and trials, yet He demonstrated how to rise above discouragement through faith, perseverance, and trust in God's plan. Let us explore some key aspects of Jesus' life that can help us navigate our own moments of despair.

兄弟姉妹の皆さん、おはようございます。今日は、人間にとって誰しもが経験する『**落胆する**』という感情について考えてみたいと思います。落胆するということは、私たちの人生に影を落としかねない感情ですが、しかし私たちは、一人でこの落胆と葛藤しているわけではありません。なぜなら私たちは、イエス・キリストの生涯からインスピレーションを見出すことができ、教えを乞うことができるからです。この世でのイエス・キリストの旅は、困難と試練に満ちたものでしたが、イエスは、信仰と忍耐、そして神のご計画を信じることによって、落胆した気持ち乗り越える方法を私たちに示してくれました。では今から、イエスの生涯の中で『落胆すること』について重要な側面を探り、私たちが絶望の淵に立たされたときに助けとなる教えを見ていきましょう。

### I. Immerse yourself in God's Word - Matthew 4:1~11

まず、イエスは落胆したときに、**神の御言葉に思い浸りました**。

#### I. 神の御言葉に浸る - マタイによる福音書 4 章 1~11 節

As we begin, we turn to the temptations Jesus faced in the wilderness (Matthew 4:1~11). After fasting for 40 days and nights, Satan tried to exploit His physical weakness and lure Him away from God's path. Jesus responded with Scripture, reminding us that God's Word is our ultimate weapon against discouragement. Three (3) times our Lord Jesus used Scripture to counter the enemy of our soul, Satan:

では初めに、イエスが荒野で直面した誘惑に目を向けてみましょう（マタイ 4 章 1~11 節）。40 昼夜断食した後、サタンはイエスの肉体的弱さを利用し、イエスを神の道から遠ざけようとしてしました。しかしイエスは聖句を用いてサタンに立ち向かい、神の御言葉が、落胆という気持ちに対

する私たちの究極の武器であることを思い出させてくれました。 私たちの魂の敵であるサタンに  
対抗するために、主イエスは三度、次のように聖句を用いられました。

Matthew 4:4 - Jesus answered, **"It is written:** *'Man shall not live on bread alone, but on every  
word that comes from the mouth of God.'*"

マタイの福音書 4 章 4 節—4 イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、  
神の口から出る一つ一つのことばによる』 **と書いてある。**」

Matthew 4:7 - Jesus answered him, **"It is also written:** *'Do not put the Lord your God to the  
test.'*"

マタイの福音書 4 章 7 節—7 イエスは言われた。「『あなたの神である主を試みてはならない』  
**とも書いてある。**」

Matthew 4:10 - Jesus said to him, *"Away from me, Satan! **For it is written:** 'Worship the Lord  
your God, and serve him only.'*"

マタイの福音書 4 章 10 節—10 イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である  
主を拝み、主にだけ仕えよ』 **と書いてある。**」

APPLICATION: In times of doubt, immerse yourself in God's promises found in the Bible. Draw  
strength from verses that remind you of God's faithfulness, love, and guidance. A promise  
from God is a statement we can depend on with absolute confidence. Here are ten (10)  
promises for the Christian to claim.

このように、迷いのある時には、聖書に書いてある神の約束について思い浸りましょう。そし  
て、神の誠実さや愛や導きを思い出させてくれる聖書箇所から力を得ましょう。神からの約束と  
は、私たちが信じて頼ることのできる絶対的な言葉なのです。

クリスチャンが知っておくべき、次のような『10の神からの約束』がありますので、読み上げま  
す。

- **God's presence** - *"I will never leave you"* (Hebrews 13:5);
- **God's protection** - *"I am your shield"* (Genesis 15:1);
- **God's power** - *"I will strengthen you"* (Isaiah 41:10);
- **God's provision** - *"Put their [your] hope in God, who richly provides us with everything for our enjoyment"* (1 Timothy 6:17);

- **God's rest** - *"Come to me, all you who are weary and burdened, and I will give you rest"* (Matthew 11:28);
- **God's cleansing** - *"If we confess our sins, He is faithful and just to forgive us our sins, and to cleanse us from all unrighteousness"* (1 John 1:9);
- **God's goodness** - *"No good thing does He withhold from those whose walk is blameless"* (Psalm 84:11);
- **God's guidance** - *"He guides the humble in what is right and teaches them his way"* (Psalm 25:9);
- **God's love** - *"I have loved you with an everlasting love; I have drawn you with unfailing kindness"* (Jeremiah 31:3); and,
- **God's wise plan** - *"All things work together for good to them that love God"* (Romans 8:28).

#### 10の神からの約束

- **神の臨在**—「わたしは決してあなたを離れない」（ヘブル人への手紙 13 章 5 節）
- **神の守り**—「わたしはあなたの盾である」（創世記 15 章 1 節）
- **神の力**—「わたしはあなたを強める」（イザヤ書 41 章 10 節）
- **神の備え**—「私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる」（テモテへの手紙 第一 6 章 17 節）
- **神の憩い**—「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい」（マタイの福音書 11 章 28 節）
- **神のきよめ**—「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます」（ヨハネの手紙第一 1 章 9 節）
- **神のいつくしみ**—「正しく歩く者たちに、良いものを拒まれません」（詩篇 84 篇 11 節）
- **神の導き**—「主は貧しい者を公義に導き、貧しい者にご自身の道を教えられる」（詩篇 25 篇 9 節）
- **神の愛**—「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた」（エレミヤ書 31 章 3 節）
- **神の賢明なる計画**—「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださる」（ローマ人への手紙 8 章 28 節）

## II. Entrust yourself to God's will - Matthew 26:36~46

そしてまた、落胆したときには、神の御心に身を委ねましょう。

### II. 神の御心に身を委ねる - マタイによる福音書 26 章 36-46 節

Another powerful example is Jesus' experience in the Garden of Gethsemane. He faced the weight of the impending crucifixion and felt overwhelmed. He prayed, ***"My Father, if it is possible, let this cup pass from me."*** Yet, Jesus surrendered His will to the Father, saying, ***"Not as I will, but as you will."***

落胆した時の励ましとなるもう一つの例は、ゲッセマネの園でのイエスの経験です。迫り来る十字架の刑の重圧に直面し圧倒されながらも、イエスは、『**わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。**』と祈りました。そしてそのあと、イエスは次のように御父に御心をゆだねたのです。『**しかし、わたしの願うようにはなく、あなたのみこころのように、なさってください。**』と、イエスは祈ったのでした。

APPLICATION: When we encounter moments of discouragement, let us remember that surrendering our desires to God's will can lead us to renewed strength and purpose.

このように、私たちが落胆しそうになった時は、自分の願いを神の御心に委ねましょう。そうすれば、私たちは新たな力が与えられ、目的へと導かれるのだということを思い出すのです。

ILLUSTRATION: A story was told that while Francis of Assisi was hoeing his garden, he was asked, *"What would you do if you suddenly learned that you were to die at sunset today?"* He replied, *"I would finish hoeing my garden."*

アッシジのフランシスコが庭の鍬入れをしていた時のお話をしましょう。フランシスコは、「今日の日没に、突然死ぬと知ったらどうしますか？」と尋ねられたそうです。すると、フランシスコは次のように答えました。「私は、いつものように庭の鍬入れを終えると思います。」

There's such stillness in the heart of a person who knows that his/her life is completely surrendered to God's will. Not even death can deter or discourage him from pursuing what he knows is God's plan.

自分の人生が、神の御心に完全に委ねられていることを知っている人の心には、そのような冷静さや静けさがあります。フランシスコは、『死』でさえも、神の計画を遂行することを妨げたり、思いとどまらせたりすることはできないと言っているのです。

### **III. Go back to your roots and remember His amazing grace - John 18:15~27, John 21:15~19**

また、私たちが落胆したときには、**原点に戻り、主の驚くべき恵みを思い出しましょう。**

### III. 原点に戻り、主の驚くべき恵みを思い起こす- ヨハネによる福音書 18 章 15～27 節、ヨハネによる福音書 21 章 15～19 節

ILLUSTRATION: During Pastor Gani Sison's (Executive Director, International Teams Philippines) recent visit, we had many opportunities to talk. I learned that he has been in the ministry for over three decades and twenty (20) plus years of those in missions mobilization. I asked him many questions. I asked him about his plans for the future since he has already achieved a certain level of success, which I personally think is extraordinary. I asked him what keeps him ticking ... what keeps him going ... what keeps him passionate after all these years. He told me to *"Simply go back to your roots. Remember your call to the ministry and your commitment to our Lord."*

最近、ガニ・シソン牧師（フィリピン・インターナショナル・チーム事務局長）が訪問してくれた際、私たちは彼と話をする機会を多く持つことができました。シソン牧師は 30 年以上宣教に携わっており、そのうち 20 年以上は宣教師たちの動員に関わっているということを知りました。そして私は彼に次のような質問をしました。シソン牧師は、すでにたくさんの功績を残しており、私は個人的には、それは大変並外れたことだと思っていました。ですから私は彼に、何が彼をそのように動かしているのか、何が彼を前進させているのか、何が彼を何年経っても情熱的にさせているのかと尋ねました。すると、彼は私にこう言いました。「私たちが聖職に召されているということ、そして私たちの主への献身をいつも思い出すことが大切なのです。」

The story of Peter's denial and subsequent restoration is a poignant reminder that even strong believers can falter. After denying Jesus three times, Peter felt the weight of guilt and failure. However, Jesus didn't abandon him. In a post-resurrection encounter, Jesus lovingly restored Peter. He reminded Peter of His call and His priorities. Jesus led him back to his roots. Likewise, it reminds us that God's grace can lift us out of the depths of discouragement.

ペテロの否定と、その後の挽回のお話しは、いくらどんなに強い信仰者であってもくじけることがあるのだということを痛切に私たちに思い出させてくれます。イエスを知らないで 3 度否定したペテロは、罪の意識とその過ちの重さを感じるようになります。しかしイエスは、そんなペテロを見捨てませんでした。イエスは、復活後にペテロと再び出会った時、愛情をもってペテロを正してくださいました。イエスはペテロに、彼の召命と彼がしなければならない大切な事を思い出させてくれたのです。ペテロは、自分が誰であるか、何をしなければならないのかという原点へとイエスによって導かれたのでした。ペテロの話は、私たちにも同様に、落胆の淵から引き上げてくれるのは、神の恵みであるということをお忘れなく思い出させてくれます。

Our mistakes don't define us; God's forgiveness and restoration do. Let's remember our first love and let's go back to our roots.

私たちの過ちが、私たちを決定付けてしまうのではなく、私たちを過ちから立ち直らせる神の赦しが、私たちを定めてくれるのです。ですから、私たちは神への最初の頃の愛を思い出し、原点に立ち返る必要があるのです。

The psalmist expressed it in another way:

詩篇の作者は、そのことを、別の表現で次のように表しています。

Psalm 42:6 (NIV) - ***My soul is downcast*** within me; therefore ***I will remember you*** from the land of the Jordan, ***the heights of Hermon—from Mount Mizar.***

詩篇 4 2 篇 6 節—6 私の神よ。**私のたましいは私の前でうなだれています**。それゆえ、ヨルダンと**ヘルモンの地から、またミツアルの山から**私はあなたを**思い起こします**。

A soul being downcast represents the turmoil or discouragement that may be happening within us. Remembering the heights of Hermon and of Mount Mizar represents the unshakeable stability of God and the miracles He did before. According to Easton's Bible Dictionary, "There is every probability that one of its three summits was the scene of the transfiguration" of our Lord Jesus Christ, and where the prophets Moses and Elijah appeared with Him.

この句に書かれている、『魂がうな垂れている』という表現は、私たちの内に起こっているかもしれない混乱や落胆を表しています。また、『ヘルモンとミツアル山の高さを思い起こすこと』は、神の揺るぎない安定と、神が以前になさった奇跡のことを表しています。イーストンの聖書辞典によれば、「その3つの頂上のうちの1つが、私たちの主イエス・キリストが変貌した場所であり、預言者モーセとエリヤがキリストとともに現れた場所であった可能性が高い」と言われています。

#### IV. Seek to understand God's perspective - Luke 24:13~35

では最後に、私たちが落胆したときには、**神の視点を理解しようと努める**ことが大切だということについてお話ししましょう。

#### IV. 神の視点を理解しようと努める - ルカの福音書 24 章 13-35 節

On the road to Emmaus, two disciples were disillusioned and discouraged after Jesus' crucifixion. They didn't recognize Him as He walked with them. But as Jesus explained the Scriptures, their hearts ***burned*** within them.

イエスが十字架につけられた後、エマオという村への道中で、二人の弟子が幻滅し落胆していました。彼らは、イエスが自分たちと共に歩いておられるのに、それがわからなかったのです。しかし、イエスがひとたび聖書を説明し出すと、二人の弟子の心は燃え上がったのです。

Luke 24:32 (NIV) - They asked each other, "*Were not our **hearts burning within us** while he talked with us on the road and opened the Scriptures to us?*"

ルカの福音書 24章32節 (新改訳) —32 そこでふたりは話し合った。「道々お話しになっている間も、聖書を説明してくださった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。」

Luke 24:32 (New Life Version) - They said to each other, "*Were not our **hearts filled with joy** when He talked to us on the road about what the Holy Writings said?*"

ルカの福音書 24章32節 (口語訳) —32 彼らは互に言った、「道々お話しになったとき、また聖書を説き明してくださったとき、お互の心が内に燃えたではないか」。

APPLICATION: When life's circumstances leave us feeling disillusioned and discouraged, let us seek to understand God's perspective through prayer, study, and seeking wise counsel. Often, it's in these moments that God reveals His purpose to us thus, allowing us to regain confidence and joy.

人生の現状に幻滅し、落胆してしまったときは、祈りと学び、そして賢明な助言を求めて、神の視点を持って神の目的や計画を理解しようと努めましょう。多くの場合、そのような困難な時に、神はご自身の目的を明らかにされます。すると、私たちは自信と喜びを取り戻すことができるのです。

## **Conclusion/Application**

As we reflect on these aspects of Jesus' life, we find a pattern of **faith, surrender, restoration, and understanding**. When faced with discouragement, let us hold onto these lessons. Turn to Scripture, surrender your will to God's, allow His grace to restore you, and seek His perspective. Just as Jesus conquered the grave, we too can rise above discouragement through His strength and guidance.

イエスの人生のそのような側面を振り返るとき、私たちは、**信仰を持つ、委ねる、修復される、理解する**、という一連の教えを見出すことができます。ですから、私たちが落胆に直面したときには、これらの教訓を心に留めなくてはなりません。落胆した時は、聖書に目を向け、自分の意志を神に委ね、神の恵みが私たちに正してくれることを受け止め、神の計らいを求めようではあ

りませんか。イエスが死に打ち勝ったように、私たちもまた神の力と導きによって落胆という淵から立ち上がることができるのです。

Remember, dear brothers and sisters, we are never alone in our struggles. Jesus is our constant companion, showing us the way to triumph over despair. May His life serve as a beacon of hope, guiding us through the darkest valleys and reminding us that with God, all things are possible.

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、私たちは決して一人ではありません。イエスは私たちの普遍の友であり、絶望に打ち勝つ道を示してくださる方なのです。イエスの生涯が、私たちの希望の光となり、私たちを暗い谷間から導きだしてくれませうように。そして、神と共にいれば万事が可能であることを私たちがいつも思い出す事ができますように。